

平成22年7月2日
観光企画課

平成21年 観光レクリエーション客入込数調査結果概要



行くたび、あたらしい。
青 AOMORI 森

青森県商工労働部観光局観光企画課

調査結果概要

観光レクリエーション客入込数

平成21年1月から12月までの本県の観光レクリエーション客入込数は、48,585千人（前年46,394千人）と推計され、対前年比104.7%で、過去最高の入込数となった。

この結果の主な要因としては、

3月下旬から始まったETC休日特別割引の実施に加え、秋の連休としたシルバーウィーク（9/19～23）の影響で本県の入り込みが増加したこと。

太宰治生誕100年にあたり、関連イベントや県内外での気運の醸成により五所川原市を中心として入り込みが伸びたこと。

祭りなどの行催事は、冬まつりは入り込みが減少したものの、春、夏、秋まつりの入り込みが伸びたため、前年を上回ったところが多かったこと。

などにより全体として増加となっている。

全体の入込数のうち、日帰り客は対前年比104.7%（2,012千人増）の44,390千人（過去最高）、宿泊客は対前年比104.5%（179千人増）の4,195千人であった。

県内・県外客別でみると、県内客は対前年比104.0%（1,338千人増）の34,965千人（過去最高）、県外客は対前年比106.7%（853千人増）の13,620千人であった。

また、冬季観光客は、冬季間の行催事入込数の減少の影響もあり対前年比99.9%（15千人減）の10,146千人となり、冬季観光客割合は対前年比1.0ポイント減の20.9%となった。

ETC休日特別割引実施当初の4月から10月までの年間入込を比較すると、21年は106.1%（2,206千人増）の38,439千人、また9月のみの比較では、21年は113.8%（623千人増）の5,130千人と、行楽シーズンの入込が大きく伸びている。

自然公園観光レクリエーション客入込数

自然公園の入込数は、全体で12,715千人と推計され、対前年比105.9%（708千人増）となった。

自然公園別にみると、十和田八幡平（2,555千人 [対前年比111.8%（269千人増）]）、大鰐碓ヶ関温泉郷（912千人 [対前年比110.1%（84千人増）]）、芦野池沼群（1,097千人 [対前年比153.2%（381千人増）]）などが入込増加。

十和田八幡平は鳥インフルエンザや地震による落石被害からの回復や、ETCの割引効果により、石ヶ戸休憩所（305千人（116%））をはじめ入込が増加したこと、大鰐碓ヶ関温泉郷は主に大鰐温泉スキー場（72千人（110.8%））や大鰐温泉の入込が増加したこと、芦野池沼群は、金木さくらまつりが期間中の好天や太宰治生誕100年及びETC休日特別割引の効果のため346千人（137.3%）となったこと、等が考えられる。

観光消費額

観光消費額は、1,673億3千2百万円(前年1,603億円)と推計され、対前年比104.4%で70億3千2百万円増加した。

宿泊費は325億5百万円で対前年比98.6%(4億6千3百万円減)となった。

また、買物・土産品費は316億7千1百万円で対前年比107.3%(21億5千5百万円増)となった。

宿泊者数が増加している中で宿泊費の減少であるが、E T C利用者を対象とした宿泊施設の割引制度などにより、宿泊費単価を抑えた観光客が増加したことが考えられる。

行催事における観光レクリエーション客入込数

行催事における観光レクリエーション客入込数は、17,274千人(前年16,768千人)と推計され、対前年比103.0%と増加した。(なお入込数は新規開催・中止による変動あり)

季節別にみると、

春の行催事は、4,330千人となっており、対前年比104.9%(204千人増)となった。主な行催事の入り込みは、「弘前さくらまつり」(2,440千人[対前年比111.9%(260千人増)])、「金木桜まつり」(346千人[対前年比137.3%(94千人増)])、「はちのへ春まつり」(275千人[対前年比114.6%(35千人増)])、「青森春まつり」(153千人[対前年比120.5%(26千人増)])などが前年を上回る入り込みとなった一方で、「十和田市春まつり」(39千人[対前年比39%(61千人減)])などでは前年を下回った。

桜の開花時期が早まり、また期間中の天候などの影響により、各地で増減にばらつきが見られた。

夏の行催事は、10,151千人となっており、対前年比103.7%(366千人増)となった。主な行催事の入り込みは、「青森ねぶた祭」(3,300千人[対前年比103.4%(110千人増)])、「五所川原立佞武多」(1,730千人[対前年比106.1%(100千人増)])、「八戸三社大祭」(1,188千人[対前年比112.3%(130千人増)])などは、開催期間が週末に重なったことなどから前年を上回る入り込みとなったが、「弘前ねぶたまつり」(1,580千人[対前年比93.5%(110千人減)])、「八戸七夕まつり」(320千人[対前年比84.2%(60千人減)])、小川原湖公園湖水まつり(244千人[対前年比95.7%(11千人減)])などは、前年を下回る入り込みとなった。

入り込みが伸びた行催事についてはE T C休日特別割引効果(平日の8月6日、7日も割引実施)や開催期間が週末と重なったこと等のため、また入り込みが減少した行催事は主に荒天のためと考えられる。

秋の行催事は、1,657千人となっており、対前年比111.5%（171千人増）となっている。主な行催事の入り込みは、「十和田市秋まつり」（245千人〔対前年比83.1%（50千人減）〕）が前年を下回る入り込みとなったが、「弘前城菊と紅葉まつり」（285千人〔対前年比117.3%（42千人増）〕）、「三沢基地航空祭」（260千人〔対前年比371.4%（190千人増）〕）、「中野もみじ祭り」（118千人〔対前年比104.4%（5千人増）〕）などは天候の影響などにより、前年を上回る入り込みとなった。

三沢基地航空祭の増加は、1994年以来15年ぶりとなる米空軍アクロパットチーム「サンダーバーズ」の展示飛行が行われ、全国から多くのファンが訪れたため。

冬の間催事は、1,002千人となっており、対前年比81.7%（224千人減）となっている。主な行催事の入り込みは、「弘前城雪灯籠まつり」（280千人〔対前年比82.4%（60千人減）〕）、「八戸えんぶり」（251千人〔対前年比88.4%（33千人減）〕）、「十和田湖冬物語」（241千人〔対前年比92.7%（19千人減）〕）など、会期中天候に恵まれなかった影響で前年を下回る入り込みとなった。

弘前雪灯籠まつりは、会期中雪が少なく、一時雨も降るなど天候に恵まれなかった。

観光レクリエーション客入込数

(単位：千人、%)

区 分	17年	18年	19年	20年	21年	対前年比	
総 数	47,165	47,412	47,947	46,394	48,585	104.7	
うち	日 帰 客	42,819	43,298	43,646	42,378	44,390	104.7
	宿 泊 客	4,346	4,114	4,301	4,016	4,195	104.5
	宿泊客割合	9.2	8.7	9	8.7	8.6	
うち	県 内 客	34,071	33,108	34,236	33,627	34,965	104.0
	県 外 客	13,094	14,304	13,711	12,767	13,620	106.7
	県外客割合	27.8	30.2	28.6	27.5	28.0	
うち	冬季観光客	9,220	9,385	9,771	10,161	10,146	99.9
	冬季観光客割合	19.5	19.8	20.4	21.9	20.9	

冬季観光客欄には、1～3・11～12月の5ヵ月間の入込数を計上した。

自然公園観光レクリエーション客入込数

(単位：千人、%)

種別	名 称	17年	18年	19年	20年	21年	対前年比
国立公園	十和田八幡平	2,917	2,833	2,807	2,286	2,555	111.8
国定公園	下北半島	1,395	1,360	1,409	1,264	1,272	100.6
	津軽	3,228	3,085	3,067	2,831	2,830	100.0
県立自然公園	浅虫夏泊	1,653	1,651	1,574	1,457	1,483	101.8
	大鰐碓ヶ関温泉郷	646	806	760	828	912	110.1
	種差海岸階上岳	609	594	557	526	528	100.4
	名久井岳	333	392	509	401	372	92.8
	岩木高原	555	498	445	450	457	101.6
	黒石温泉郷	697	692	743	689	669	97.1
	芦野池沼群	908	809	916	716	1,097	153.2
	赤石溪流暗門の滝	684	666	666	559	540	96.6
	小 計	6,085	6,108	6,170	5,626	6,058	107.7
合 計	13,625	13,386	13,453	12,007	12,715	105.9	

観光消費額

(単位：百万円、%)

区 分	17年	18年	19年	20年	21年	対前年比	
総 額	167,552	166,177	167,024	160,300	167,332	104.4	
うち	宿泊費	33,588	33,252	35,147	32,968	32,505	98.6
	域内交通費	36,605	36,825	38,408	39,483	44,181	111.9
	買物・土産品費	32,580	33,264	32,832	29,516	31,671	107.3
	その他	64,779	62,836	60,637	58,333	58,975	101.1

行催事における観光レクリエーション客入込数（上位10位）

(単位：千人、%)

	市町村名	行催事名	開催期間	19年	20年	21年	対前年比
1	青森市	青森ねぶた祭	8/2-7	3,100	3,190	3,300	103.4
2	弘前市	弘前さくらまつり	4/23-5/5	2,510	2,180	2,440	111.9
3	五所川原市	五所川原立佞武多	8/3-8/8	1,660	1,630	1,730	106.1
4	弘前市	弘前ねぶたまつり	8/1-7	1,680	1,690	1,580	93.5
5	八戸市	八戸三社大祭	7/31-8/4	1,093	1,058	1,188	112.3
6	五所川原市	金木桜まつり	4/29-5/6	442	252	346	137.3
7	八戸市	八戸七夕まつり	7/18-21	370	380	320	84.2
8	弘前市	弘前城菊と紅葉まつり	10/23-11/8	263	243	285	117.3
9	弘前市	弘前城雪灯籠まつり	2/11-15	260	340	280	82.4
10	八戸市	はちのへ春まつり	4/29-5/6	243	240	275	114.6
	上位10行催事計			11,621	11,203	11,744	104.8
	行催事全体合計			17,420	16,768	17,274	103.0

行催事における観光レクリエーション客入込数（季節別）

【春季】

（単位：千人、％）

	市町村名	行催事名	開催期間	19年	20年	21年	対前年比
1	弘前市	弘前さくらまつり	4/23-5/5	2,510	2,180	2,440	111.9
2	五所川原市	金木桜まつり	4/29-5/6	442	252	346	137.3
3	八戸市	はちのへ春まつり	4/29-5/6	243	240	275	114.6
4	青森市	青森春まつり	4/25-5/6	145	127	153	120.5
5	青森市	青森春フェスティバル	5/4-5	150	150	150	100.0
6	八戸市	蕪島まつり	4/19	40	110	120	109.1
7	七戸町	しちのへ春まつり	4/25-5/31	-	78	96	123.1
8	横浜町	菜の花鑑賞	-	120	140	80	57.1
9	三戸町	さんのへ春まつり	4/25-5/6	114	84	76	90.5
10	黒石市	黒石さくらまつり	4/25-5/5	85	70	70	100.0
	上位10行催事計			3,849	3,431	3,806	110.9
	春季行催事全体合計			4,678	4,126	4,330	104.9

【夏季】

（単位：千人、％）

	市町村名	行催事名	開催期間	19年	20年	21年	対前年比
1	青森市	青森ねぶた祭	8/2-7	3,100	3,190	3,300	103.4
2	五所川原市	五所川原立佞武多	8/3-8/8	1,660	1,630	1,730	106.1
3	弘前市	弘前ねぶたまつり	8/1-7	1,680	1,690	1,580	93.5
4	八戸市	八戸三社大祭	7/31-8/4	1,093	1,058	1,188	112.3
5	八戸市	八戸七夕まつり	7/18-21	370	380	320	84.2
6	東北町	小川原湖公園湖水まつり	7/25-26	230	255	244	95.7
7	八戸市	八戸花火大会	8/16	140	140	140	100.0
8	三沢市	三沢まつり	8/20-23	152	115	140	121.7
9	三沢市	みさわ七夕まつり	7/24-26	163	132	133	100.8
10	黒石市	黒石よされ	8/14-20	80	100	120	120.0
	上位10行催事計			8,668	8,690	8,895	102.4
	夏季行催事全体合計			9,928	9,785	10,151	103.7

【秋季】

(単位:千人、%)

	市町村名	行催事名	開催期間	19年	20年	21年	対前年比
1	弘前市	弘前城菊と紅葉まつり	10/23-11/8	263	243	285	117.3
2	三沢市	航空祭	10/18	90	70	260	371.4
3	十和田市	十和田市秋まつり	9/11-13	265	295	245	83.1
4	黒石市	中野もみじ狩り	10/4-11/5	129	113	118	104.4
5	東北町	日の本中央たいまつ祭	9/10-13	62	73	74	101.4
	上位5行催事計			809	794	982	123.7
	秋季行催事全体合計			1,579	1,486	1,657	111.5

【冬季】

(単位:千人、%)

	市町村名	行催事名	開催期間	19年	20年	21年	対前年比
1	弘前市	弘前城雪灯籠まつり	2/11-15	260	340	280	82.4
2	八戸市	八戸えんぶり	2/17-20	302	284	251	88.4
3	十和田市	十和田湖冬物語	1/30-2/22	255	260	241	92.7
4	黒石市	旧正マッコ市	2/1	63	89	65	73.0
5	青森市	青森冬まつり	2/7-8		43	24	55.8
	上位5行催事計			880	1016	861	84.7
	冬季行催事全体合計			1,056	1,226	1,002	81.7